

各病院の主な取組み

各病院において、次のとおり、府立の病院としての役割を果たすための取組みや、医療課題に適切に対応するための診療機能の充実に取り組みました。

<28年度の取組み>

◆ 急性期・総合医療センター

- 大阪市消防局より受託した派遣型ワークステーション研修を実施するなど、救命救急部門の充実（救急車搬入患者数 28年度 7,772人 [27年度 8,112人]）
- 地域がん診療連携拠点病院として、進行がん症例の増加に対応するため、血液・腫瘍内科の開設及び無菌室の増設
- がん医療の質とがん患者のQOL(生活の質)を向上するため、がん周術期リハビリテーションの実施（術前から登録されたがん周術期リハビリテーション実施率 28年度 25.5% [27年度 24.0%]）
- 腎移植の普及のため、近隣病院に対する勉強会の開催や、近隣の腎臓内科医との連携強化を目的とした「腎臓内科・移植研究会 in 関西」の起ち上げ（腎移植件数 28年度 21例 [27年度 19例]）
- 「万代e-ネット(診療情報地域連携システム)」など、ICTを用いた地域医療連携の強化（ICTを用いた地域医療連携登録医数 28年度 197人 [27年度 171人]）

◆ 呼吸器・アレルギー医療センター

- 呼吸器内科を標榜科として、救急告示病院に認定(29年1月～)
- 急性期を脱した患者の在宅復帰支援のため、地域包括ケア病棟を開設(28年10月～)
- アレルギー疾患の根治に向けた取組として、農業・食品産業技術総合研究機構が開発したスギ花粉ペプチド含有米(スギ花粉症緩和米)を使った臨床研究の開始

◆ 精神医療センター

- 麻酔科との連携による修正型電気けいれん療法の実施（修正型電気けいれん療法実施件数 28年度 389件 [27年度 381件]）
- 医療型障害児入所施設として、発達障がいの確定診断を実施（発達障がい診断初診件数 28年度 252件 [27年度 283件]）
- 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った裁判で、医療観察法に基づく入院治療が必要な人に専門的な医療や様々なリハビリテーションプログラムを実施し、社会復帰を促進

◆ 成人病センター

- 難治性・進行性・希少がんをはじめとするがん患者への最適な集学的治療の実施（手術実施件数 28年度 3,390件 [27年度 3,389件]）
- 患者一人一人の症例に最適な治療法の選択や低侵襲ながん手術の実施（ESD内視鏡的粘膜下層剥離術 28年度 748件 [27年度 730件]）
- 新病院整備について、施設整備及び引渡しが完了し、平成29年3月に新病院が開院

◆ 母子保健総合医療センター

- 新生児や胎児に対する手術などの高度専門医療の提供（手術実施件数 28年度 4,421件 [27年度 4,202件]）
- 総合周産期母子医療センターとして安定的な周産期医療を提供（母体緊急搬送受入件数 28年度 265件 [27年度 219件]）
- 妊産婦や小児の疾患に関する新しい診断や治療方法の研究開発（国際学術誌発表論文 28年度 36件 [27年度 32件]）